

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
01225滝川市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校職員の業務負担軽減のため、学校支援地域本部事業により地域ボランティアを派遣してきたが、従前から実施してきた事業や新たに実施する事業の支援者確保が課題となっている。	地域コーディネーターが中心となり、学校の要望を把握し、支援を頂ける人材への交渉や発掘を行っていく。 そのためには、市内に広く周知するため広報誌を積極的に活用するほか、町内会や文化サークルなどの各種団体との連携を進めていく。	・地域コーディネーターが作成しているCS通信を町内会に配布した。 ・ボランティア募集について、広く周知するため、HPやLINEに掲載した。	地域人材を活用した教育の充実が図られるとともに、教職員の業務負担軽減により時間外在校時間等の減少につながる。	実施事業数及び延べ人数	560	人	600	188	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・学習ボランティアなど例年実施している事業は、一定数の支援者を確保することができた。 ・市広報誌やホームページで、広く周知を行った。 ・今年度も地域コーディネーターが中心となり、新たな支援者の確保に取り組んだ結果、高校生によるボランティア参加を実現させた。 ・支援人数が目標に届かなかった要因として、対象期間の縮小によるスキー指導実績の除外、小学校の部活動廃止に伴う支援不要化が挙げられる。